2017年11月19日　国際リハビリテーション研究会 第1回学術大会

クロージング セッション

10年間、国際協力支援活動の総括
（障害当事者派遣としての挑戦的経験）

【発表者】笹田　三郎

はじめに

- 自己紹介　笹田 三郎 1947年1月3日生まれ 70歳
  元国立施設 教官
  国際協力NGO/NPO法人アプカス 指圧技術指導責任者

【資格】
鍼灸マッサージ教員免許
あん摩マッサージ指圧師・鍼師・灸師資格免許

略歴

【職歴】

1967年～2007年

国立施設で視覚障がい者に技術指導教官（主に鍼灸マッサージ）

【国際協力分野 略歴】

2008年～2011年

JICAシニアボランティア （鍼灸マッサージ技術指導/マレーシア）

2013年～2016年

草の根技術協力事業　技術指導（指圧/インド）

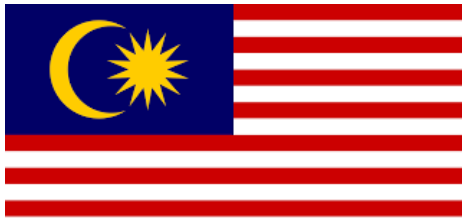
2011年～2019年（予定）

スポンサーのない個人的支援で開始

草の根技術協力事業（2017年9月採択）技術指導（指圧/スリランカ）

①マレーシアでの活動

マレーシアでの活動（経緯）



2008年～2011年

JICAシニアボランティア （鍼灸マッサージ技術）

【1.1若いころからの夢】：

SVボランティアで途上国で働くこと。派遣種目は視覚障害者への指圧・手技療法技術支援。自信がないとの後ろ向きの思いもあり、若いころから国際会議に積極的に参加、英語で発表、実技ワークショップをするなどでシミュレーションを積み重ねてきた

【1.2 幸運だったネットワーク】：

それ以前からの友人であったマレーシアのWさんの骨折り、JICA内部にも障害当事者派遣の気運があったこと等にめぐまれ、全盲SVの長期派遣がJICAで初めて実現

マレーシアでの活動（場所）

2011年～2012年

JICAシニアボランティア

1.マレーシア、ペナン
ST. Nicholas' Home for the Blind

2.マレーシア、クアラルンプール
NCBM
(National Council for the Blind, Malaysia)

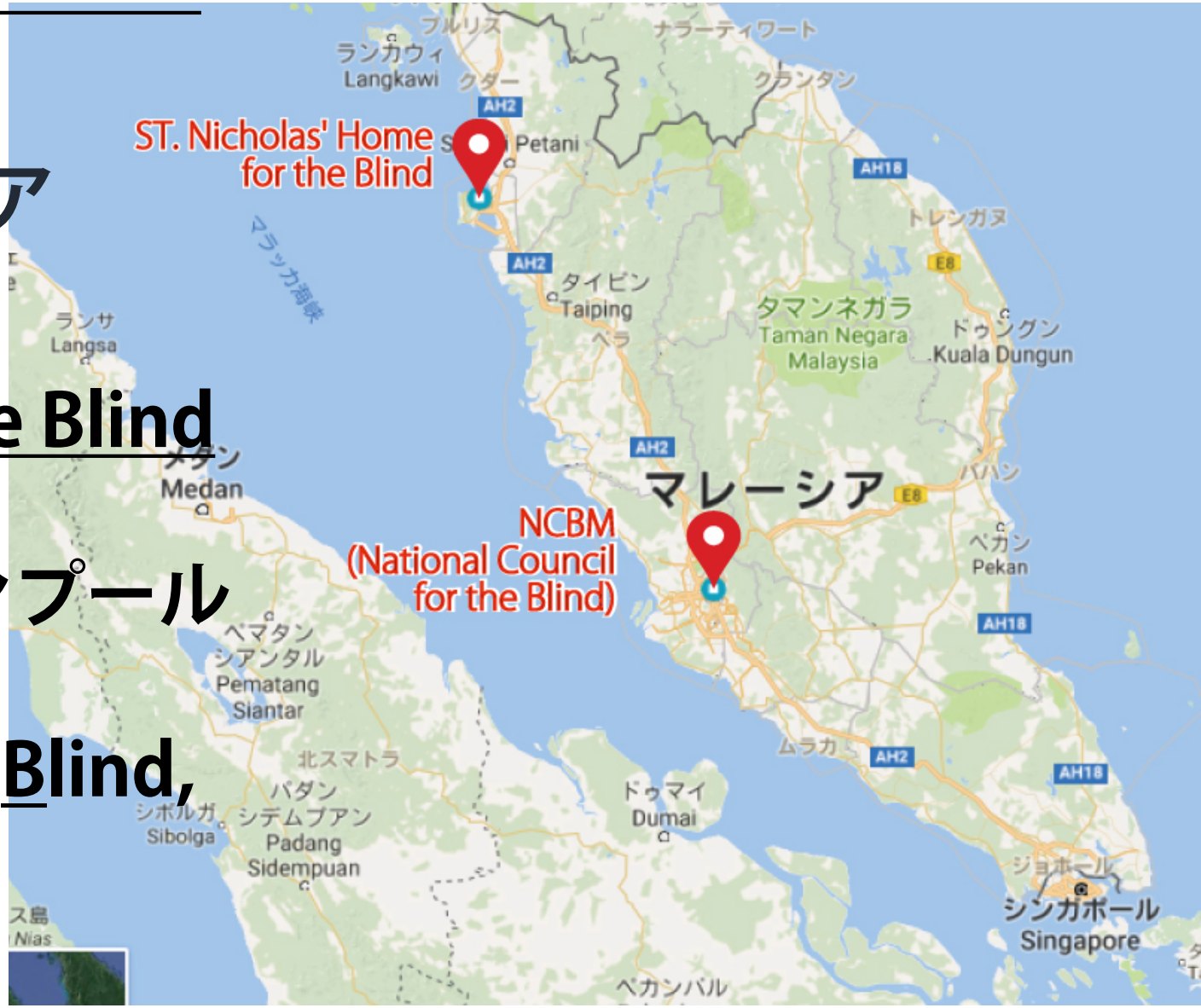
マレーシアでの活動（場所）

2011年～2012年

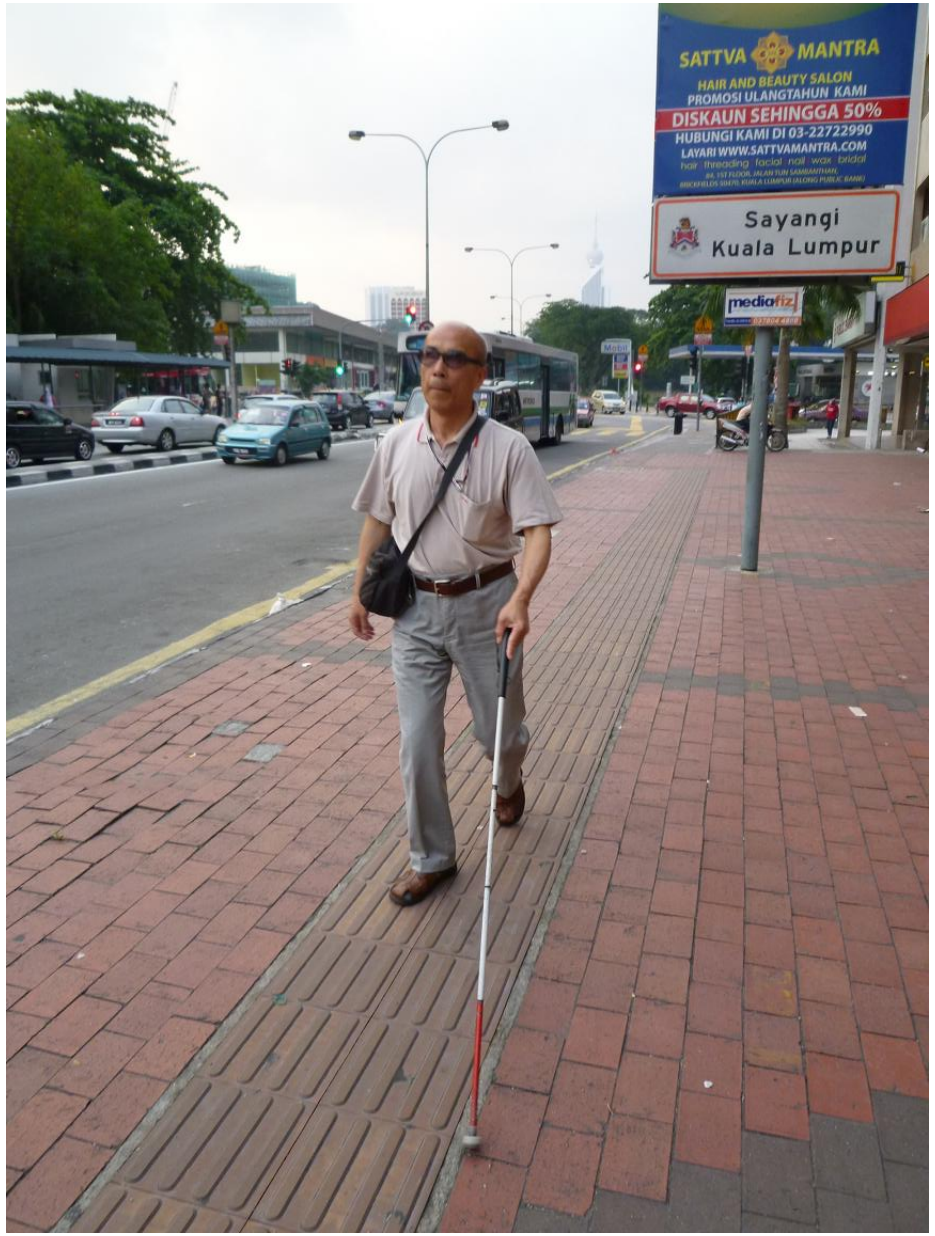
JICAシニアボランティア

1.マレーシア、ペナン
ST. Nicholas' Home for the Blind

2.マレーシア、クアラルンプール
NCBM
(National Council for the Blind, Malaysia)



マレーシアでの活動（写真1）

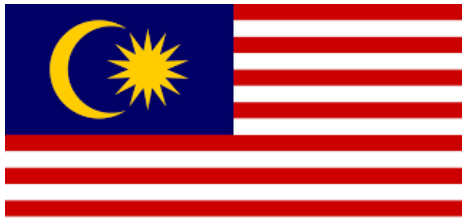


マレーシアでの活動（写真2）

マレーシアでの活動（写真3）

マレーシアでの活動（写真4）

マレーシアでの活動（考察）



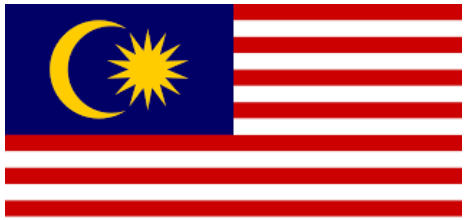
2008年～2011年

JICAシニアボランティア （鍼灸マッサージ技術）

【1.3マレーシア派遣で得たもの】：
大局的に物事を診る、心構えの柔軟性。多言語、多文化、多宗教社会への親近感

【1.4支援活動の自己評価】：
派遣後の個人的訪問でフォローアップ支援。教えた技術が生き続けていることを確認し、達成感

マレーシアでの活動（内容）



2008年～2011年

JICAシニアボランティア （鍼灸マッサージ技術）

【1.5何を教えたか】：

① Talking Hands
② 呼吸に注目
③ 心地よいリズム
④ 治療の流れ（診察→計画→施術→評価→助言）
⑤ PDCAサイクルで自己評価

②インドでの活動

インドでの活動（経緯）

2013年～2016年

草の根技協 技術指導員（指圧技術）

【2.1.経緯】：

マレーシア短期派遣中の2010年、筑波大学付属盲学校の寺崎氏から打診があった

【2.2.SV と草の根の違い】：

SV派遣では支援先組織からの派遣要請を受けて、支援活動がなされたが、「草の根」では日・印両国の組織対組織の合意の上プロジェクトが実施される。SVは任国の組織にたいして浅い関わりにとどまるのに対し、草の根ではより深い関わりが期待できる

インドでの活動（場所）

2013年～2016年

草の根技協 技術指導員（指圧技術）

1.インド、アフマダバード グジャラート
BPA
(Blind People's Association)

2.インド、デラドゥン
NIVH
(National Institute For the Visually Handicapped)

インドでの活動（場所）

2013年～2016年

草の根技協 技術指導員

1.インド、アフマダバード グジャラート
BPA
(Blind People's Association)

2.インド、デラドゥン
NIVH
(National Institute For the Visually Handicapped)

インドでの活動（写真1）

J. M. M. T. Clinic
જે. એમ. એમ. ટી. ક્લિનીક
જે. એમ. એમ. ટી
ટ્રીટમેન્ટ. રૂ. 100
જનરલ રિલેક્ષેશન રૂ.200
JMMT
TSUKUBA UNIV.
JICA
NIVH
MAB

インドでの活動（写真2）

インドでの活動（写真3）

हिमालयन अस्पताल
HIMALAYAN HOSPITAL

DOON (P.G.) PARAMEDICAL
COLLEGE & HOSPITAL
ADMIN.
BLOCK

インドでの活動（写真4）

Dr. Prabhat Balodia
DOON GROUP OF COLLEGES
DEHRADUN
Welcome
Dr. Sasada from Japan
for
JMMT Workshop
at
Department of Physiotherapy
Doon (P.G.) Paramedical College & Hospital Dehradun
on
23rd & 24th July, 2015

インドでの活動（写真5）

DOLLARBHAI & USHABEN PORECHA
CONFERENCE CENTRE
BLIND PEOPLE'S ASSOCIATION (INDIA) WELCOMES

MADHIR LATA
JMMT
TSUKUBA UNIV.
JICA
NIVH
NAB

インドでの活動（概要と考察）

2013年～2016年

草の根技協 技術指導員（指圧技術）

【2.3.JMMTコース設立】：

日本式手技療法、2年コースの設立運営にはカーストの縛りなどあり、インドでは前例がないプロジェクト。寺崎氏と共にインド側CPの二人の存在感が大きかった。3年間の草の根を終えた後でも日本式指圧マッサージコース（JMMT）は自律的に運営されている。

【2.4私自身の反省点】：

任務の逸脱行為。代理人であることを忘れがちで独断専行して、プロジェクトマネージャーとの間に摩擦を生じたこと。上部組織とのコミュニケーションのギャップ

インドでの実践経験（内容）

2013年～2016年

草の根技協 技術指導員（指圧技術）

【2.5教員としての職務内容】：

① 教員養成（PTなど医療従事者を対象に）8か月間、その後施術者コース2年間。二つのコースともに学生は修了後、筑波大学から証書授与。

② シラバス（実技のみならず基礎医学、伝統医学、英語、コンピューター）を作成し、時間割作成も。施術者コースは2年間で2,000時間の授業。

③スリランカでの活動

スリランカでの活動（経緯）

2011年～2019年

スポンサーのない個人的支援で開始

草の根技協 技術指導（指圧技術）

【3.1.経緯】：

視覚障害者訓練施設でのマッサージ訓練コース内容の改善に対して、NPO法人アプカス代表の石川氏から相談を受ける。その後、訓練修了生の雇用の受け皿として、コロンボ市内に指圧マッサージセンター「トゥサーレ トーキング ハンズ」を設立（2012年）。
ほぼ年2回のペースで渡航し、技術指導、指圧師との交流を続ける。
来年度以降、スリランカに長期滞在し、訓練強化事業に参加予定。

スリランカでの活動（場所）

2011年～2019年

スポンサーのない個人的支援で開始

草の根技協 技術指導（指圧技術）

1.スリランカ　コロンボ

Thusare Talking Hands

2.スリランカ　シードゥワ

Seeduwa Vocational Training Centre

スリランカでの活動（場所）

2011年～2017年

スポンサーのない個人的支援で開始

草の根技協技術指導（指圧技術）

1.スリランカ　コロンボ

Thusare Talking Hands

2.スリランカ　シードゥワ

Seeduwa Vocational Training Centre

スリランカでの活動（写真1）

④途上国支援の魅力

開発途上国支援の魅力

１．教えたいことを私の企画立案で教えられる

２．ハングリー精神と共鳴を得る

３．ストレスからの解放

４．肩書と社会通念

⑤途上国支援の困難性

開発途上国支援の困難性

１．妻に大きなストレスを与えてしまったこと

２．10年前を振り返れば「老化」を実感

ご清聴ありがとうございました